



令和3年2月
 編集・発行
姫路市連合婦人会
 会長 岩田稔恵
 姫路市本町68番地290
 イーグレひめじ3F
 TEL (079)224-2401
 FAX (079)224-2402

令和3年 新年の抱負

会長 岩田稔恵

昨年は新型コロナウイルスの影響で婦人会活動も思うようにできず、それは今も続いています。今年はずいぶんコロナで「新しい生活様式」を実践し、今私たちにできることを考え、前向きに活動していきたいと思えます。

副会長 河南眞稚子

溝口地区の女性は全員が婦人会員と規約を定めてスタートした中寺校区婦人会も15年になりました。年令制限を無くしたので、大半が高齢者の



令和3年 新年交礼会

1月4日(月)、姫路市商工会議所2階・大ホールに於いて開催されました。

清元市長、石堂副議長、齋木会頭、竹田会長の新年のあいさつがありました。恒例の鏡開きはなく、人数制限があり、姫路市連合婦人会からは岩田会長が参加しました。



美化活動クリーン作戦

例年は3月初旬に実施していますが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、12月11日(金)、規模を縮小して行いました。

これから、美しいまちづくりに貢献するために活動していきたいと思えます。



姫路城ライトアップイベント 「姫路城フォーシーズンファンタジア(ひとせ)」

12月18日～12月27日までの期間、夜の姫路城は光で彩られ、三の丸広場は光と音楽とテクノロジーを融合させた色とりどりの季節が表現されていました。岩田会長、河南副会長が個々に見に行きました。コロナ禍の中、すてきなイベントに感謝して、満たされた気分になり帰り路につきました。





今年度はコロナ禍で思うように活動ができない状況の中、それぞれが工夫し取り組んできました。学習内容の発表は市役所1階においてパネルを展示する予定です。

2月3日(水)にキャスパホールで予定されていた消費生活講演会が新型コロナウイルス感染拡大で中止になったため、婦人会活動室において、生活学級合同修了式のみ開催され、各校区の代表者が清元市長から修了証書を受け取りました。

生活学級合同修了式



中寺校区



水上校区



広峰校区



豊富校区



11月21日(土)あいまっせフェスティバルが開催されました。オープニングセレモニーの後、講演会は料理家のコウケンテツ氏の「みんなで作る未来の食卓」と題し、お料理のレシピをまじえての楽しいトークを聴かせて頂きました。

あいまっせフェスティバル



11月24日(火)、文化センターで開催され、岩田会長、稲田副会長、上野理事が参加しました。特別講演では、「コロナ禍で問われたもの」と題して(一財)山口県人権啓発センター事務局長、川口泰司氏のお話を受講しました。コロナ禍で社会矛盾や差別が浮き彫りになったことを痛感しました。

姫路市人権・同和教育研究大会



銀色有功章 竹中安美
金梓感謝状 岩田稔恵
特別感謝状
姫路市赤十字奉仕団

令和2年、日本赤十字社兵庫支部は創立130周年を迎えました。予定されていた記念大会は、新型コロナウイルスの感染拡大のため中止になりましたが、これからも、いのちと健康を守る赤十字活動を支えていきたいと思えます。

日赤兵庫支部創立130周年



コロナ禍の中、悪質な詐欺事件が起きています。「おかしいな」と思ったら188に電話しましょう。

コロナ禍の中



11月2日(月)、姫路労働会館にて「SOSキャッチ専門研修」が開催されました。児童虐待に関する事件が後を絶たず、地域全体で子どもの安全を守る取り組みを推進する為の講演二題を聴きました。

SOSキャッチ専門研修



連合婦人会から会長他理事が出席し、河南副会長が代表として委嘱状を受け取りました。



10月26日(月)、手柄山中央公園で開催されました。令和2年度はコロナウイルス感染拡大防止の為、会長のみが出席し献花をしました。

太平洋全国空爆犠牲者追悼祈念式

10月15日(木)、ポルトピアホテルにおいて、家森幸男氏による講演会「フランス料理は長寿食か?カナダに学ぶ食べ方上手」が開催され河南・稲田副会長が参加しました。日本人の健康寿命は世界一で、食生活が大きく影響しています。健康ひようご21県民運動では「食はバランス、ごはん、大豆と減塩で」の取り組みを続けています。

健康ひようご21健康づくり推進員



11月9日(月)、職員福利センターにおいて、「かしこい商品選択を身につけよう!私たちが安くてよい商品を買うワケ」と題して公正取引委員会近畿中国四国事務所取引課の課員によるセミナーがあり、理事3名が参加しました。

消費生活セミナー



フォローアップ研修会



11月11日(水)、姫路揚善会善行表彰式が行われました。今回の表彰式は新型コロナウイルス感染防止のため役員及び被表彰者のみの少人数で開催され記念講演は中止となりました。

姫路揚善会表彰式

11月4日(水)、市川町保健福祉センターにて健康ひようご21県民運動「フォローアップ研修会」が開かれました。「結核の常識」「健康体操」の後、講演として武庫川女子大学の谷野永和先生の「高齢者の低栄養・フレイル予防」のお話を聴きました。会長をはじめ数名が出席しました。

フォローアップ研修会



校区婦人会



活動報告

現地集合で施設見学会を実施

中寺校区

10月18日(日)、何もかもがコロナで制限された中で知恵を絞っての施設見学会でした。行先は町内の「日本玩具博物館」と「民族資料館」。近くでいつでも行ける為案外行けていない所で皆大喜びでした。両館長の説明も丁寧で折も折、たつぷりとソーシャルディスタンスを取りながらゆったりと見学が出来ました。両館共コロナで入館が大幅に減少し存続の苦しさを訴えておられました。又他の皆様もお気軽に訪れて差し上げて下さいね。



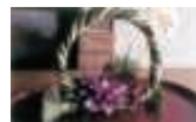
▲香寺民俗資料館

▲日本玩具博物館

生活学級で「お正月飾り」

(山田政子)

12月10日(木)、ゆずり葉の長井先生の指導により「お正月飾り」を作りました。コロナの影響で、参加者は13人でしたが、それぞれに好きな色を選んで、素敵な物が出来上がりました。(河南真稚子)



コロナ禍の中で…

広峰校区

令和2年度も残すところあと少しとなりましたが、今年度の活動はコロナに振りまわれ未だに思う様に実施できない状態が続いています。少し感染が収まった10月30日(金)、会場を広峰公民館から北平野公民館に移し「だまされないうで悪質商法」の研修会を消費生活センター相談員の久内和子氏にお願いし開催致しました。あの手、この手の悪質商法は本当に怖いと思いました。その後コロナ感染拡大は衰えを見せずついに2回目の緊急事態宣言が発出されました。私たちは1人ひとりが衛生行動(手洗い、咳エチケット、人混みを避ける等)を徹底しウイルスに立ち向うための行動を心がけなければいけないと思います。(稲田恵子)



第15回古墳祭り

四郷(見野)校区

11月1日(日)、暖かな秋晴れの中見野古墳群和光公園周辺で開催しました。コロナ対策のため野外とした会場は、市内外からの参加者約2800名の方々でにぎわい、七号古墳前に新設された舞台で繰り広げられた和太鼓ショーや猿まわし、津軽三味線ショーの催し物で大いに盛り上がりました。子ども達は、勾玉づくりや火おこし体験、金魚・メダカすくい、古墳クイズラリーに参加し、とても楽しそうでした。(竹中安美)



▲お猿さん竹馬の上でハイポーズ

コロナ禍の中心癒された フラワーアレンジメント

水上校区

11月30日(月)、第4回生活学級で、花の北市民広場において「フラワーアレンジメント講習会」を開催。講師は三木等先生です。



6か月前に広い部屋を予約し、当日はフェイスマスク、消毒液の準備をして、換気も十分にを行い実施しました。いつもよりおしゃべりを減らして、色とりどりの花をかごいっぱいにいけました。三木先生の適切なアドバイスのおかげで、素敵なフラワーアレンジメントが出来上がりました。花もちがとてよく長い間楽しむことができ、幸せな12月になりました。

(豊田多恵子)



ハイゼックス炊飯袋を使って…

豊富校区

11月8日(日)、豊富公民館で女性コミュニケーション活動推進事業でとん汁と災害救助用炊飯袋(ハイゼックス炊飯袋)を使い、お米を炊きました。袋には、米と水の分量が表示され、熱湯で30分沸でると簡単に作ることができました。試食すると、炊飯器で炊いたご飯と変わりありませんでした。これからもいろいろなことに挑戦していこうと思います。(上野裕美)



美味しいご飯ができます。

心豊かなフラワーアレンジメント

豊富校区

12月27日(日)、豊富公民館で第6回生活学級を行いました。今回は、藤本先生のご指導のもと、お正月用フラワーアレンジメントをしました。毎年行っていますが、毎回新鮮な気持ちになります。今年は熨斗の折り方も習い、有意義な時間を過ごすことができました。令和3年はすばらしい年になるように心から祈っています。(上野裕美)



みんな上手にできました。

総社へ祈願

城西校区

1月7日(木)、城西女性部有志で新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束を願ひ、総社へ祈願に行かせて頂きました。先の見えない不安は消せませんが、皆様と共に感染予防に努め、中止になった沢山の行事が復活して、地域の皆様の笑顔や笑い声が聞こえますようお手伝いをさせて頂きたいです。ごく普通の元の生活に戻りますよう祈りあるのみです。今年、歩みは遅くとも着実に希望に向かって。(東山昌代)



祈りが通じますように

あいめっせだより

ご存知ですか？ 国際女性デー

『国際女性デー』という言葉を目にしたことはありますか？

毎年3月8日は、国連が定めた『国際女性デー (International Women's Day)』です。

成り立ち

『国際女性デー』は、言語・文化・政治や経済的な壁に関係なく、国や社会に貢献した女性の勇気と決断を称える日です。1904年3月8日、ニューヨークで婦人参政権を求めて起きたデモをきっかけに、ヨーロッパやロシアでデモや労働運動が広がりを見せました。その後、国連は1975年を国際婦人年とすることを宣言。毎年3月8日を『国際女性デー』と制定しました。

これまで国連が4回にわたり世界女性会議を開催したことによって、国際的に女性運動が広まり、女性の権利と政治的・経済分野への参加が進められてきました。現在、『国際女性デー』である3月8日には、世界各地で記念行事が行われるほか、それぞれの国の歴史や伝統に応じたさまざまな取り組みがなされています。

ミモザの日

イタリアではこの日を「フェスタ・デラ・ドンナ」と呼び、次第に「女性の日」や「ミモザ祭り」として男性から女性へ花を、特にミモザを贈る日として定着しました。この文化が世界に広がり、『国際女性デー』は「ミモザの日」とも呼ばれるようになりました。

ミモザは、正式にはマメ科ネムノキ亜科アカシア属の総称で、和名は銀葉アカシアと言います。黄色い小さな花が集まった丸い花が特徴で、花言葉は「感謝・友情・エレガンス」などとされています。



日本では

残念ながら、日本での知名度はまだあまり高くありませんが、近年、企業や一般の女性団体などによる記念事業やイベントが開催されており、『国際女性デー』を日本の新たな文化行事として定着させることを目指しています。

この機会に、わたしたちの国、そして地球上のすべての女性たちの置かれている地位を見つめなおし、平等に向けて自分たちに何ができるか考えてみませんか。

姫路市男女共同参画推進センター“あいめっせ”

〒670-0012 姫路市本町68番地290 イーグレひめじ3階 Tel.079-287-0803 Fax.079-287-0805

ホームページ <https://www.city.himeji.lg.jp/i-messae>